

# ガスクロマトグラフ質量分析装置 (GC/MS)

## 装置の特徴

本装置は、主ににおい成分などの気体や、比較的低沸点の液体などを対象としております。また、RoHS規制物質であるフタル酸エステル類の測定に必要な加熱装置を搭載しており、工業製品の測定にも対応可能です。

また、NISTライブラリやにおい成分に特化したAromaOfficeデータベースを搭載しており、MSスペクトルの定性が可能です。

## 装置構成・用途

### 【装置構成】

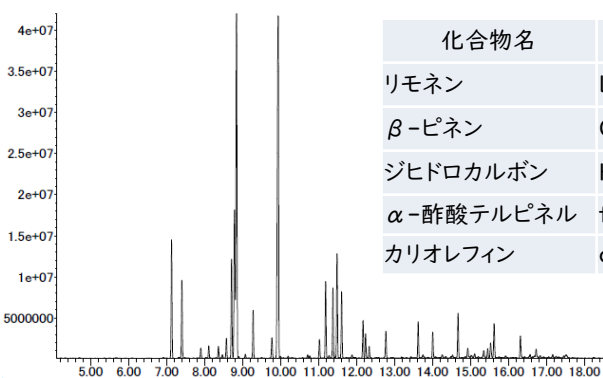
- ガスクロマトグラフ装置 Agilent 8890GC
- 質量分析装置 Agilent 5977B
- イオン源 EI
- 試料導入装置 GERSTEL MPS roboticpro 導入したGC/MS
- 前処理部 ヘッドスペース、SPME、Twister等
- その他 NISTライブラリ、AromaOffice

### 【主な用途】

- におい成分、製品からのアウトガス、RoHS規制物質のスクリーニング等



## アロマオイルの分析例



TICクロマトグラム

化合物名	性質
リモネン	Lemon(レモン)
$\beta$ -ピネン	Citrus(シトラス)
ジヒドロカルボン	Herbaceous(草様)
$\alpha$ -酢酸テルピネン	fresh flowery(花様)
カリオレフィン	camphor-like(樟脳様)

測定結果をデータベースにて検索すると、100種類以上の物質がヒットしました。特徴的な成分と性質を示します。性質の異なる成分が含まれていることが確認されました。

アロマオイルは10ml程度、基板などのアウトガスは10g以上必要です。分析対象により、必要なサンプル量は異なりますので、お問い合わせください。

## 問い合わせ

公益財団法人 岩手県南技術研究センター  
〒021-0902 岩手県一関市萩荘字高梨南方114-1  
TEL:0191-24-4688 FAX:0191-24-4689

代表者:理事長 勝部 修  
担当者:手島暢彦、千葉優一  
mail:info1@sirc.or.jp